令和６年 能登半島地震

穴水町復興計画（概要版）

令和 6 年12月

この度、町民の想いを取り入れた「穴水町復興計画」を、早期の復旧と復興に向けて取り組む「道しるべ」として、基本的な考えを明確にし、将来の穴水町を描き、「未来ある、そして魅力ある町」に発展できるよう、「みんなで創ろう　未来のあなみず」をキャッチコピーに掲げ、4つのシンボルプロジェクトを中心に「サステナブル：今の良さを守り伸ばす」「イノベーション：挑戦し変化する」「ゲートウェイ：奥能登の軸となる」の3つの道筋・指針で実行し、町全体が創造的復興の実現に向けて取り組む計画として、令和6年12月に策定いたしました。

創造的復興の実現には、多くの課題や時間を要し、様々な局面での対応などが求められますが、町民や各種関係機関などの皆様方と町が一丸となって取り組み、一日も早い災害復旧と被災者の生活となりわいを再建し、魅力ある復興と、未来に向けた発展を目指してまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

穴水町長
吉村光輝

復興計画の全体像

「みんなで創ろう　未来のあなみず」をキャッチコピーに「住民参加でつくるまち」「暮らすことに誇りが持てるまち」を穴水町の将来像として掲げ、計画期間を5年間として、4つのシンボルプロジェクトを推進します。

穴水町の将来像

住民参加でつくるまち
暮らすことに誇りが持てるまち

3つの道筋・指針

SUSTAINABLE	INNOVATION	GATEWAY
今の良さを守り伸ばす	挑戦し変化する	奥能登の軸となる

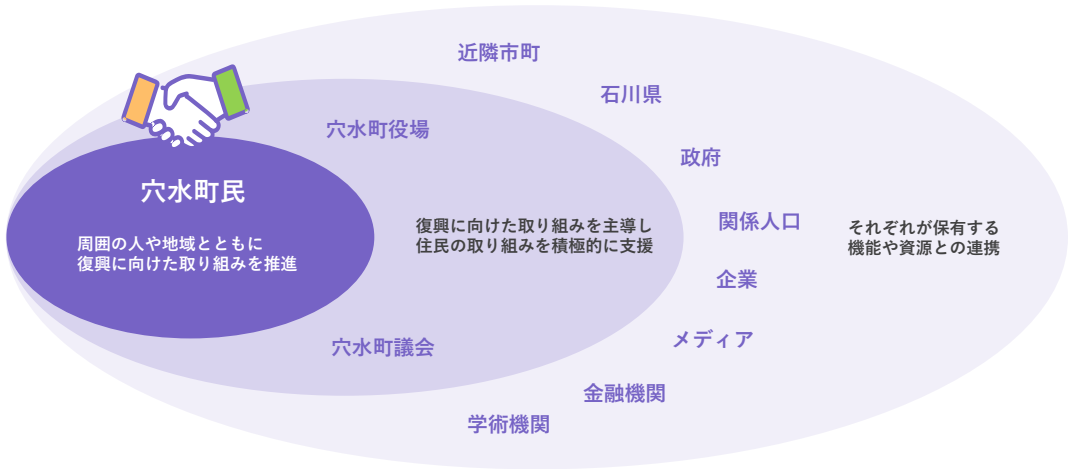
4つのシンボルプロジェクト

- 災害に強いまちづくりプロジェクト
- 地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクト
- 魅力ある子育てと教育の環境づくりプロジェクト
- 奥能登の玄関口再生プロジェクト

復興の主役と推進体制

被災後も、全ての町民が本町で幸せに暮らし続けられるためにも、町民一人ひとりが復興の主役となって、復興計画を推進していきます。

本町及び本町議会は、それを支えていく役割を果たし、不足する機能や資源があれば、適宜、多様な関係者と有機的に連携し、実践的な産官学金労言の体制を構築していきます。



4つのシンボルプロジェクト

○災害に強いまちづくりプロジェクト

	内容	具体的取り組み
① 全町を挙げた防災意識の向上	子どもから大人までの町民の誰もが防災の意識をもっていただけるような取り組みを推進します。また、発災時には、要配慮者などを含む全町民が安全に避難できるような避難計画の策定支援や防災士の育成も行います。	・今回の震災を通じた地域防災の課題の洗い出しと防災対策の実施及び自主防災組織への共有　など
② 今回の地震の検証による地域防災計画等の見直し	既存の地域防災計画やハザードマップなどの見直しや、災害を乗り越えるための新たな協力体制の構築などを行います。	・能登半島地震を教訓とした地域防災計画やハザードマップ、都市計画の見直し及び個別避難計画やマイタイムラインの策定　など
③ 災害に対する備え	大規模な災害を想定した道路網の整備や公共施設などの機能強化と拡充、緊急情報が確実に収集できるような通信環境の整備を行います。	・集会所や公共施設等のインフラ設備の強化及び避難所機能の拡充 ・情報伝達手段の再整備　など
④ 共同拠点の整備	災害時の緊急医療体制の再整備や拠点となる医療機関と福祉施設などの機能強化を行います。	・災害時の緊急医療体制の再整備 ・中核となる医療・福祉機関の強化　など
⑤ 記憶の伝承	震災を風化させないための施設整備や語り部の任命、スタディツアーの受入れを行います。	・災害の記録や復旧状況等を継承する施設整備　など

○地域コミュニティとなりわいの再生プロジェクト

	内容	具体的取り組み
① 地域コミュニティ維持と再生	地区集会所などの地域コミュニティ施設の再建や地域の祭りなどへの支援、集落で住み続けられるためのインフラの支援などを行います。	・集会所や神社等の地域コミュニティ施設の再生 ・被災者が定期的に集える憩いの場の提供 ・学生との交流促進　など
② 被災産業への早期再建支援	深刻な被害を受けた農林水産業者への早期再開に向けた支援や担い手の確保のための支援強化の他、新分野展開などの事業の再構築を目指す事業者への支援などを行います。	・農林水産業のブランド力及び連携の強化 ・先端技術活用による農林水産業のスマート化　など
③ 町の魅力の再発見及び新たな魅力の創出	観光面だけでなく防災面も兼ね備えた環境整備やデジタル技術を活用した新たな魅力の創出を行います。	・長期滞在型施設の誘致 ・魅力ある観光資源の形成及び観光コンテンツづくり　など
④ 企業等誘致及び学術機関との連携推進	企業などの誘致強化及び大学・学会などとの連携を推進し、地域の活性化や雇用の創出、新たな観光コンテンツの造成などを行います。	・企業誘致による地域経済の活性化及び雇用の創出 ・誘致企業と地元企業の連携促進　など
⑤ 移住定住人口・関係人口の拡大	移住者や二拠点居住者への支援やサテライトオフィスのための施設整備、町の復興と発展のための観光大使・復興大使の任命を行います。	・移住者及び二拠点居住者等の滞在拠点の充実 ・空き地及び空き家物件の情報提供　など

○魅力ある子育てと教育の環境づくりプロジェクト

	内容	具体的取り組み
① 子育てと仕事の両立支援	周産期医療の強化と充実や不足する保育士の安定的な確保、子育てと仕事を両立していくための町内企業との連携などを行います。	・周産期医療の強化及び充実 ・保育士の安定確保　など
② 子育てのための生活環境整備	子育て世代のニーズに合わせた全天候型の遊び場の整備や妊娠から子育てに必要な支援の継続と拡充を行います。	・全天候型の遊び場の整備 ・妊娠から子育てに必要な支援の継続と拡充　など
③ 災害に強く魅力ある保育・教育施設の整備	震災で使用できなくなった町立穴水小学校校舎の建て替えや大規模な災害でもいち早く保育と教育が行えるような施設としての防災機能の強化を行います。	・災害に強く魅力ある町立穴水小学校の建設 ・大規模災害でもいち早く保育・教育施設として利用できる防災機能の強化など
④ 穴水で学ぶことに誇りが持てる環境の整備	ふるさと穴水への理解を深める「ふるさと教育」の拡充や、小中学生だけではなく高校生や大学生と連携して学べるような機会の創出を行います。	・プロアスリートや一流文化人等と交流ができる機会の提供 ・海外の学生等との交流の推進　など

○奥能登の玄関口再生プロジェクト

	内容	具体的取り組み
① 穴水駅周辺の再生	「奥能登の玄関口」だけではなく「目的地穴水」となるように穴水駅舎やその周辺施設などの再整備やにぎわい創出に向けた商店街などの再生を行います。	・穴水駅舎及び周辺施設の再整備 ・にぎわい創出に向けた商店街等の再生など
② 公共交通機関や新たな交通手段の整備	奥能登の玄関口という立地条件を活かした交通のハブ機能と二次交通の強化を行います。	・海の玄関口としての活用 ・地域の特性を活かした公共交通機関の再整備　など
③ 住まいや物流拠点の再整備	災害公営住宅の建設や新たな住まいが確保できるような面的整備と物流拠点や物流ルートの整備を行います。	・災害公営住宅の建設 ・新たな住まいの確保に向けた面的整備の推進　など